

船舶事故調査報告書

令和3年7月14日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 佐藤 雄二（部会長）
 委員 田村 兼吉
 委員 岡本 満喜子

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（令和2年2月22日 10時24分ごろ～10時30分ごろの間）（死亡時刻：22日15時10分）
発生場所	不明（岩手県田野畑村島の越漁港北方沖）
事故の概要	漁船日吉丸は、船長が落水して死亡した。
事故調査の経過	令和2年3月5日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため、行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 日吉丸、0.2トン IT3-52619（漁船登録番号）、個人所有 4.18m(Lr)×1.35m×0.55m、FRP ガソリン機関、30kW（動力漁船登録票による）、平成24年3月8日
乗組員等に関する情報	船長 78歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和59年5月25日 免許証交付日 平成30年9月26日 （令和6年5月24日まで有効）
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	船外機等に濡れ損
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南、風力 1～3、視界 良好 海象：波向 東北東～東南東、波高 0.8～1.8m、水温 約7～8℃ 田野畑村には、2月22日10時23分に強風、波浪及び雷注意報が発表されていた。
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、漁に使用するゴカイを採集する目的で、令和2年2月22日09時15分ごろ島の越漁港を出港した。 船長の家族は、10時24分ごろ船長の携帯電話から着信を受け、10時27分ごろ折り返して船長の携帯電話に発信したものの不通であり、以降も不通のままであった。 本船は、10時30分ごろ島の越漁港の北方沖約1kmで、転覆した

	<p>状態で付近の住民により発見され、連絡を受けた漁業協同組合所属の僚船及び海上保安庁の巡視艇によって船長の捜索が行われた。</p> <p>船長は、12時00分ごろ転覆地点付近の海岸で意識のある状態で発見され、病院に搬送されたものの、15時10分死亡し、死因は低体温症と検案された。</p> <p>本船は、僚船によって引き揚げられ、のち廃船処理された。</p> <p>(付図1 事故発生場所概略図 参照)</p>
その他の事項	<p>本船は、和船型の船外機船であった。</p> <p>船長の行うゴカイの採集は、箱めがねで海中を覗き、手かぎで岩に張り付いたゴカイをこそいで捕るものであった。</p> <p>船長の救命胴衣は、海岸で発見された時、船長のすぐそばに脱いだ様子で置いてあった。</p> <p>船長の携帯電話は、非防水型であった。</p>
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>不明</p> <p>船長の死因は、低体温症であった。</p> <p>船長は、10時24分ごろ船長の家族に船長の携帯電話から着信があり、10時30分ごろ本船が転覆した状態で発見されたことから、この間において、落水したものと考えられるが、目撃者がおらず、落水した状況を明らかにすることができなかった。</p> <p>船長は、海岸で発見された時、すぐそばに脱いだ様子の救命胴衣があったことから、落水したのち海岸に到達し、自ら救命胴衣を脱いだものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、島の越漁港を出港した後、漁に使用するゴカイの採集中、船長が落水したことにより発生したものと考えられる。</p>
再発防止策	<p>今後の同種事故等の被害の軽減に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗船中は、防水パックに入れた携帯電話又は防水型の携帯電話を身に付けておくことが望ましい。

付図1 事故発生場所概略図

